

令和4年度 市民協働・共創事業提案制度のプレゼンテーション結果報告について

生涯学習推進室「野外活動広場(桜の園)管理運営事業」**(1)採用 (条件付)**

提案団体:「ボランティア 桜の園の会」

1. 理由

取組実績による事業の安定性や更なる創意工夫により、事業の発展が期待できるため

2. 事業推進にかかる留意事項(条件)**【団体】**

- ①新しい取り組みを行う際など、事業実施について事業担当課と十分に協議を行ってください。
- ②事業が継続できるよう業務の効率化を図るための工夫を検討してください。

【担当課】

- ①提案団体と十分な協議を行い、柔軟な役割分担により、協働事業として継続できるよう努めてください。

シティプロモーション推進課「阪南 TV 用映像コンテンツ作成業務」はなていch.」**(1)採用 (条件付)**

提案団体:「阪南市盛り上げ隊(浜のおばちゃん家)」

1. 理由

事業に対する創作意欲があり、SNS 等を活用した情報発信の工夫により、多様な世代に阪南 TV を身近に感じもらえることが期待できるため

2. 事業推進にかかる留意事項(条件)**【団体】**

- ①事業を安定して実施できる、事業計画・体制づくりを行ってください。
- ②内容に偏りが生じないよう公平性を意識してください。
- ③スマホを活用した撮影は、手軽さや親しみやすさが感じられる一方、被撮影者への十分な配慮に努めてください。
- ④団体が持つ SNS など情報発信ツールと連携を図るなど、阪南 TV の認知度・視聴回数の向上に努めてください。

【担当課】

- ①スケジュールや内容について、十分な協議を行い、番組全体の構成づくりに努めてください。

令和4年度 提案・応募のあった事業

受付 番号	事業の名称	提案団体	目的・概要	役割分担・協働の効果	提案時の事業費	公開 プレゼンテーション へ参加の可否	関係課	
2	阪南市コミュニティweb配信「はなてい ch.」	阪南市盛り上げ隊(浜のおばちゃん家)	・まだ見ぬ“眠っていた 阪南市の 魅力 “を掘り起こすこと。 ・はなてい ch を より多くの人に知ってもらう、興味を持って見てもらえるチャンネルとすること。 ・阪南市に住む市民が心から愛せる、「 街の魅力を 再発見 」 できるような コンテンツを生み出し、 発信すること。 ・阪南市外 の市民からも 愛され 阪南に足を運んでもらうこと。 ・海外からのインバウンド旅客を 視野に入れた PR ・阪南市内の事業者が 誇りを 持って町を押し出し、手を取り 合って共に発展できる 一助となる 応援をすること。 ・視聴者、町の事業者、市民、 行政、阪南市に関わるすべての 人を巻き込み 皆で ワクワクする、魅力溢れるコンテンツを発信 すること。 ・子育て世代に役立つ！ 阪南 子育て 情報発信 を目的とし、 事業としては、 ・阪南市の魅力が伝わる ショート 動画の撮影、製作 ・阪南 TV パラエティコーナーに てショート動画を 配信 ・市内 事業者の 収益 up、視 聴者の行動変容 につながる PR =阪南市盛り上げ隊公式 youtubeと連携し、相互の ch へ 送客 し 再生回数 up、視聴者 の行動変容購買、来店を実現する ・SNSを活用した阪南市公式アカウントと連携した発信 ・地域の人や事業者の応援を通じた町おこしプロジェクト(イベント企画、オンライン物産展、デジタル MAP やリーフレットの作成、子育て世代応援企画などを検討を行う。	【提案団体】 ・市民かつ阪南市内で事業を行う事業者の視点からの発信（市内事業者、イベント、スポットの魅力を 事前・事後 と多角的に配信し 視聴者の 需要・ 行動変容を喚起 する ・まちづくりの主役である市民にフォーカスした取材・ 発信 市民 参加型イベントの企画、市民と事業者のストーリー に焦点を当てた取材 ・市民団体による 自発的な地域 活動 の推進 市内外イベント出店、イベント企画、メディアへの広報活動 など ・個々の発信力を活かした 情報 拡散 SNS 連携、メルマガ配信 等) ・斬新なアイデアと実行力で市と共創 デジタル MAP 作成やオンライン物産展の開催、事業者協賛型の販促活動、市の公式 Web との連携 など 【市】 ・お互いの 立場を尊重し合い、高め合える関係性＝平等な 立ち位置での協議、話し合いの場を持つ ・市が求める理想、将来像 具現化のための 専門知識や 情報の 共有＝視聴率、行動変容等の目標値の分析における具体的数値の共有 ・パートナーとして共通の目的を実現するためのサポート＝阪南 TV 全体の 魅力 up、コンテンツの拡充など	【効果】 市: ・市民ならではの視点を活かしたより広い 層への 発信力強化、再生回数 up ・市民目線での「 伝える 」情報から「 伝わる 」市の魅力発信 ・市民と移住者からなる団体だからこそ分かる眠っていた阪南の魅力の掘り起こし ・各種SNS とリンクさせた官民協働での多角的な発信 により 関係人口＝阪南ファンの増加を見込める 団体; ・個々が役割分担し協力し合うことで チームとしての「阪南市を民間から盛り上げて行く」という 目的達成とお互いの事業の発展に繋げる。 ・市との協働で官民一体となり互いの特性を活かした PR ができる。 市民: ・発信を通じて より地元を身近に、人との繋がりを感じられる。 ・居住地としての阪南を市外にも魅力溢れる町として人を呼びたくなる、自慢したくなる。 ・近場ゆえに気づかなかった地元の魅力再発見 ・住環境としての阪南の魅力を享受（欲しい情報が届く）	【収入の部】 ・制作費(市からの予算) 500,000円 【支出の部】 500,000円 ・取材費 100,000円 ・人件費 180,000円 ・広告費 100,000円 ・活動費 120,000円	可	シティプロモーション推進課

経過

- 9月21日 第2回 阪南市市民協働推進委員会開催
・「令和4年度(今年度)市民協働・共創事業提案制度の応募募集について」説明。
- 1月30日～ 市民協働・共創事業提案制度 募集開始
- 2月9日 仮提出締切日
- 2月22日 本提出締切日
・書類確認(協働事業の要件確認)
・公開プレゼンテーションへの参加の可否⇒2団体とも可
- 3月13日 公開プレゼンテーション・審査部会の開催
・審査部会から成案化に向けた協議に進める事業の選定について提言書をまとめて提出。
- 3月下旬 市長から提案団体へ選定通知
・提言書を踏まえ、提案団体へ選定通知書を送付。

今年度(令和4年度)の取り組み

結果が分かり次第、担当課と採択団体と打合せを実施し、詳細部分については、今後打合せを行っていく予定。